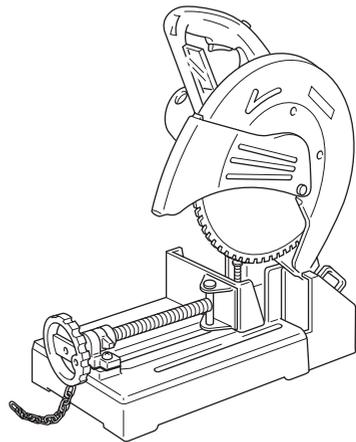


Makita

取扱説明書

305mm チップソー切断機

回 モデル **LC1200**
(ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

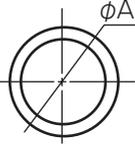
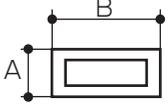
このたびは305mmチップソー切断機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ チップソー切断機安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ 本製品の設置	14
・ チップソーの取り付け・取りはずし方	14
・ 切断角度の調整	15
・ 材料の固定（バイスの使い方）	16
・ スイッチの操作	17
・ 切断方法	17
・ 各種軟鋼パイプ（水道管、鋼管、ビニールライニング鋼管）の切断	18
・ 平鋼の切断	18
・ アングル鋼の切断	19
・ 角パイプ・チャンネル鋼の切断	20
・ 切りくず受け	21
・ 機械の移動	21
・ 保守・点検について	22
・ チップソーの交換	22
・ カーボンブラシの交換	22
・ 本製品のお手入れ	23
・ ご修理の際は	23

主要機能

主要機能	モデル	LC1200	
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100 V	
電流		15 A	
周波数		50-60 Hz	
消費電力		1,430 W	
回転数		1,300 mm ⁻¹ (回転 / 分)	
使用できるチップソー寸法		外径 305 mm × 内径 25.4 mm	
切断能力	切断形状		A × B mm 
	切断角度		
	90度切断	115	75 × 150 100 × 100
45度切断	90	85 × 85	
本製品寸法		長さ 490 mm × 幅 305 mm × 高さ 560 mm	
質量		17 kg	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チップソー切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

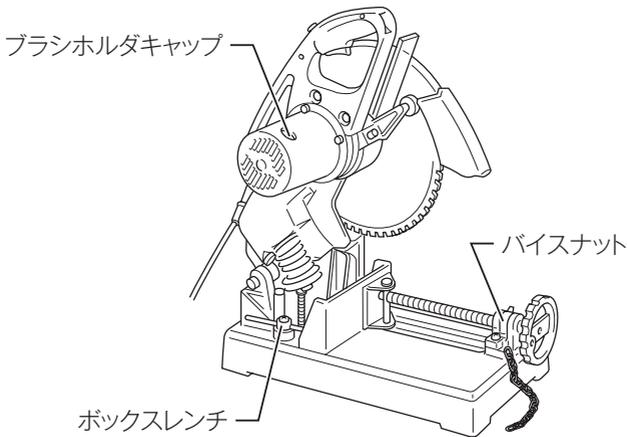
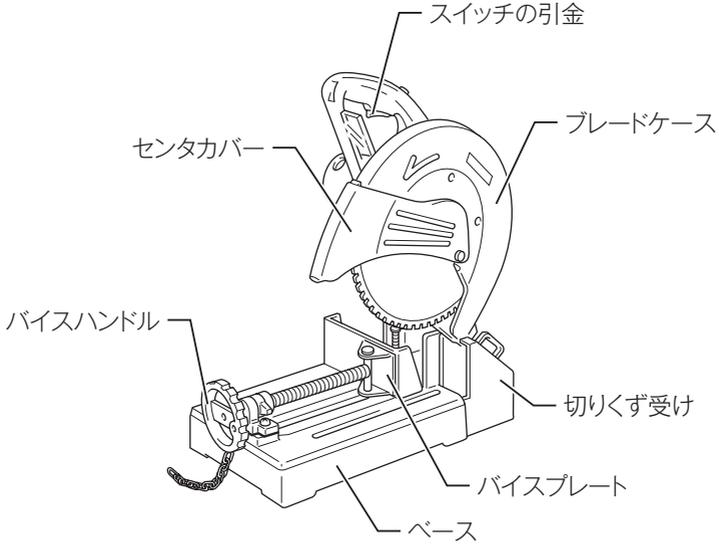
⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チップソーは、銘板に表示してあるサイズのチップソーを使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ チップソーが露出したままですとけがの原因になります。
4. 使用中は、チップソーや回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 切断する材料は、バイスで確実に固定して作業してください。
 - ・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
6. 使用中は切断火花が飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、安全な場所に遠ざけてください。また、切断火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災や、やけどの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップソーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態では、けがの原因になります。
2. チップソーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にチップソーを向けて空転させ、機体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 指定以外の刃物（丸のこ刃、木工用チップソーなど）での切断作業はしないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 使用直後の材料や切断片は、高温になっていますので素手で触らないでください。
 - ・ やけどやけがの原因になります。
8. チップソーが、材料に接触していないことを確認してから、スイッチを入れてください。
 - ・ けがの原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 軟鋼材用チップソー 305 (本製品取付) 部品番号 : A-12974
- ・ ボックスレンチ

別販売品のご紹介

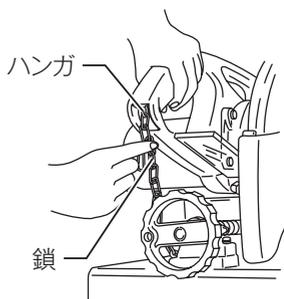
- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ チップソー

名称	部品番号	刃数
薄板軟鋼材用チップソー 305	A-12980	78
低騒音軟鋼材用チップソー 305	A-48446	60
ステンレス用チップソー 305	A-13007	80

使い方

本製品の設置

- ・ 傾斜のない平坦な場所にすえ付け、安定した状態にしてください。
- ・ 出荷時には本製品を最も下げた位置に固定してあります。ハンドル部を少し押さえ、鎖をハンガからはずして固定を解除してください。



チップソーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

チップソーの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

チップソーを取り付けるときは、本製品についている矢印とチップソーに付いている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わないとチップソーの回転方向が逆回転となり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

チップソーの着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

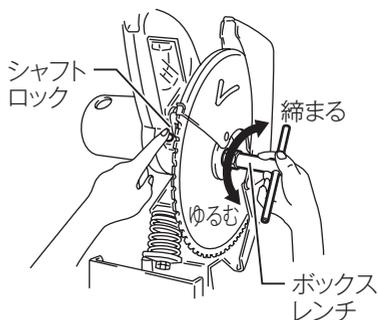
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

切断作業直後のチップソーを取りはずす場合、チップソーが熱くなっていますので、素手で触らないでください。

- ・ やけどの原因になります。

取りはずし方

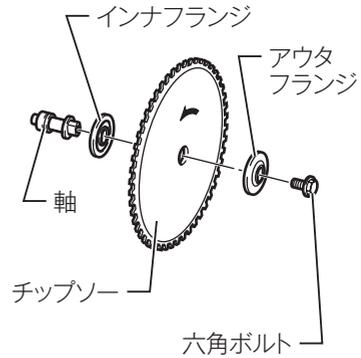
- ・ センタカバーを持ち上げてください。シャフトロックを押しこみ、軸の回り止めをしてください。
- ・ ベースに収納してあるボックスレンチでチップソーを締め付けている六角ボルトを左方向に回してはずし、アウトフランジ、チップソーの順に取りはずしてください。



使い方

取り付け方

- ・ 取り付けは、取りはずし方の逆の要領で行ってください。
- ・ 軸にインナフランジ→チップソー→アウトフランジの順に取り付け、六角ボルトをしっかりと締め付けてください。
- ・ センタカバーを元の状態に戻し、ハンドル部を下げて、センタカバーが正常に作動することを確認してください。



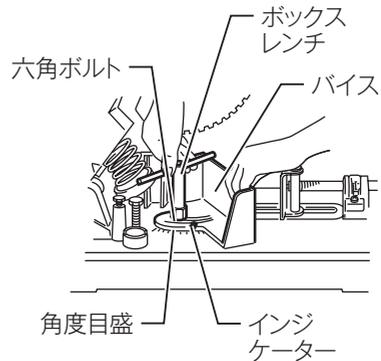
切断角度の調整

⚠ 注意

角度調整後は、六角ボルトを確実に締め付けてください。

- ・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

- ・ ボックスレンチで、六角ボルトをゆるめ、バイスを動かしてベース上の角度目盛にインジケータを合わせてください。



使い方

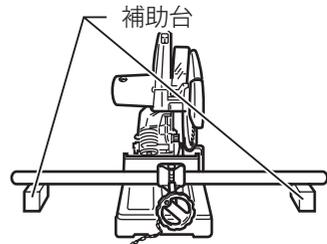
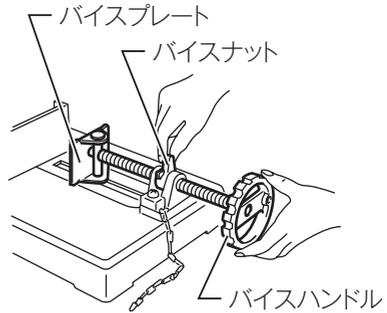
材料の固定（バイスの使い方）

⚠ 警告

バイスナットを完全に右側へ倒して、材料を固定してください。

- ・ 材料の固定が不十分となり、切断中材料が飛ばされてチップソーを損傷し、けがの原因となります。

- ・ 本製品にはクイックバイスが取り付けられています。
- ・ バイスハンドルを左に回すとバイスがゆるみ、バイスナットを左側に倒しバイスハンドルを前後に動かすとバイスが自由に移動します。
- ・ 材料を固定するときは、バイスハンドルを押してバイスプレートを材料に近づけ、バイスナットを右側に倒してバイスハンドルを右に回してください。
- ・ 材料が長い場合は、必ず端部を補助台にのせベース上面と高さを調整し安定させてください。



注

- ・ チップソーの回転中にはこれらの作業は絶対にしないでください。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたまま電源プラグを差し込むと急に回りだし事故の原因になります。

スイッチを入れる前に、シャフトロックがはずれていることを必ず確認してください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ スwitchは引金を引くと入り、放すと切れます。

切断方法

⚠ 注意

スイッチを入れる前に、チップソーが材料などに接触していないことを必ず確認してください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品に強い反発力が生じ、けがの原因になります。

無理にハンドルを押さえ付けしないでください。

- ・ ハンドルの押さえすぎは、切断能力を悪くし、チップや台金の損傷原因になります。

切断した材料や作業直後のチップソーは、高温になっていますので素手で触らないでください。

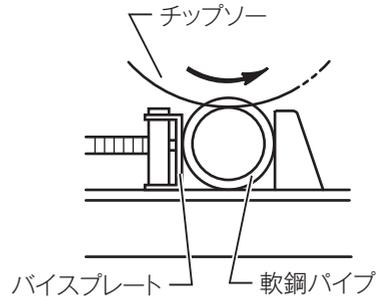
- ・ やけどの原因になります。

- ・ ハンドルをしっかり握りスイッチを入れ、チップソーの回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押さえ、静かに降ろして切断してください。
- ・ 押さえる力が弱すぎると火花が多くなり、チップの摩耗が早くなります。ハンドルを押さえる力は、火花の出方が一番少ない状態が最適です。これを目安に切断してください。
- ・ 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、チップソーの回転が完全に止まってからハンドルを戻してください。

使い方

各種軟鋼パイプ（水道管、鋼管、ビニールライニング鋼管）の切断

- ・ 図のように軟鋼パイプを固定し、切断してください。



平鋼の切断

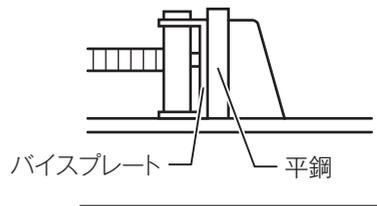
⚠ 注意

図のように切断すると、材料がバイスプレートよりはずれる可能性がありますので、絶対にしないでください。

- ・ けがの原因となります。



- ・ 図のように平鋼を固定し、切断してください。



使い方

アングル鋼の切断

⚠ 注意

図のように切断すると、材料がバイスプレートよりはずれる可能性がありますので、絶対にしないでください。

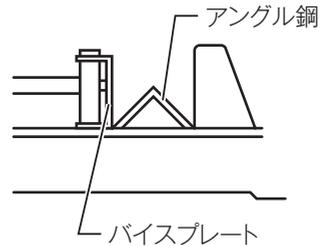
- ・ けがの原因となります。



- ・ 図1のようにアングル鋼を固定し、

図1

切断してください。



- ・ 図2のように切断をすると、チップソーの摩耗が早くなります。

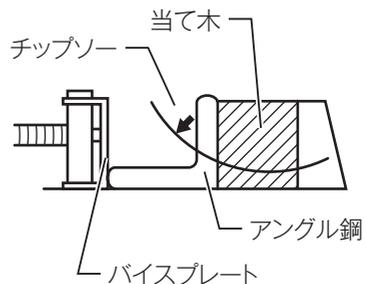
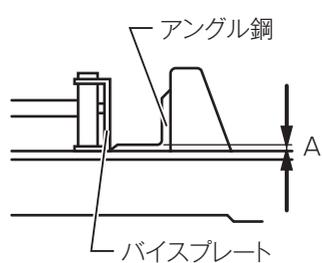
図2

- ・ A部分を切断する場合、当て木を使用してチップソーが斜めにあたるように切断してください。

チップソーの摩耗が軽減されます。当て木を使用した場合、材料の切断可能寸法は短くなります。

- ・ チップソーの摩耗が軽減できる当て木の寸法

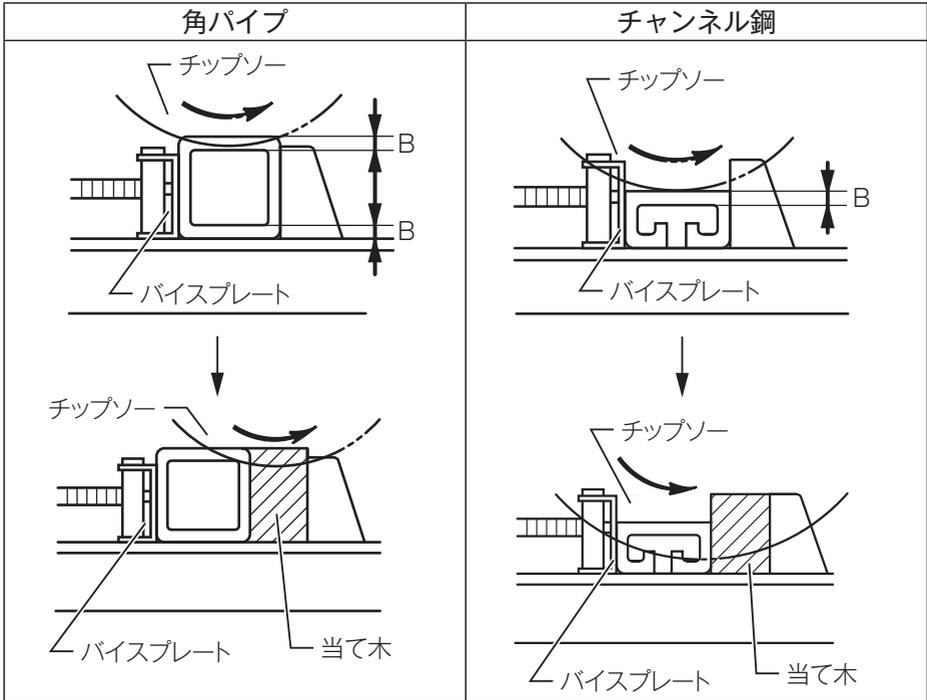
= 最大切断可能寸法 - 切断材料の寸法



使い方

角パイプ・チャンネル鋼の切断

- ・ B 部分を切断する場合、当て木を使用してチップソーが斜めにあたるように切断してください。
チップソーの摩耗が軽減されます。
当て木を使用した場合、材料の切断可能寸法は短くなります。
- ・ チップソーの摩耗が軽減できる当て木の寸法
＝最大切断可能寸法－切断材料の寸法



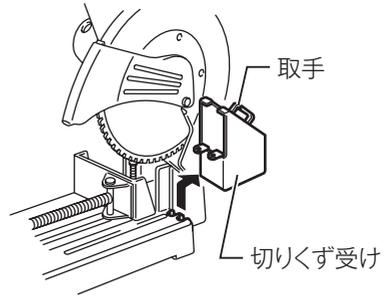
注

- ・ 切断中にチップソーが停止した場合は、直ちにスイッチを切り、チップソーに異常がないか点検してください。チップが大きく欠けたり台金が損傷している場合は、新しいチップソーに交換してください。
- ・ 切断後、チップソーが回転している間にハンドルを上げると、切り落とした材料がチップソーに触れて飛散しやすくなりますので、必ずチップソーの回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。
- ・ 材料を途中までしか切断しない場合は、チップソーを回転させたままハンドルを上げてください。
切断中でスイッチを切ると、チップが材料に当たってチップ欠けの原因になります。

使い方

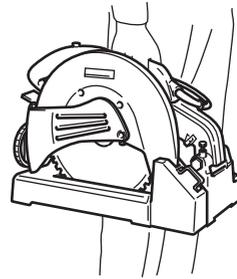
切りくず受け

- ・ ベースの前部に切りくず受けがつけられています。切りくずが一杯になりましたら取手部を持ち上げ、ベースから離して切りくずを捨ててください。



機械の移動

- ・ 本製品を持ち運ぶ場合は、本製品を最も低い位置にして、ハンガに鎖を引っ掛け、運搬用のグリップ部を持って運んでください。



⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

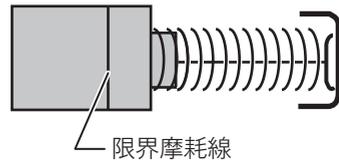
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

チップソーの交換

- ・ 切れ味の悪くなったチップソーを無理して使用されると、切断時の反発が大きくなったり、モータに過大な力がかかったり、また能率も落ちたりしますので早めに新品と交換してください。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
- ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



- ・ ①ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



保守・点検について

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881659F0
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)